

## (6) 学校教育系施設

### ア 学校施設（小・中学校）

#### ①サービス状況

小学校は、生涯にわたり学習する基盤を培うために、また基礎的な学力や人間性を培う教育の場として、満6才から6年間の義務教育を行うための学校教育施設です。

平成26年度現在、本市の小学校児童数は1,532人で、小学校数は11校あります。

小学校は、1校当たりの建物棟数が多く、延床面積（約48,289㎡）は、市保有の公共施設全体の約19%を占めています。

中学校は、小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて行われる義務教育のための学校教育施設です。

平成26年度現在、本市の中学校生徒数は852人で、中学校数は6校あります。

中学校も小学校同様、1校当たりの建物棟数が多く、延床面積（約33,151㎡）は市保有の公共施設全体の約13%を占めています。

適正な学校教育を提供するには一定の規模が必要であり、効率的・効果的な教育行政の運営には、適正な教育環境が必要なことから、「長門市立小中学校適正配置方針」に基づき、地域性等を考慮しながら、学校の統廃合を進めています。

なお、「長門市防災計画」において、全ての小・中学校が災害時における緊急避難場所に指定されています。

#### ②建物状況

学校施設（「幼稚園を除く」以下同じ）は、「長門市学校施設整備計画（学校施設耐震化推進計画）」に基づき、老朽化した学校施設の建替え・整備、耐震改修等により、子どもたちが安全で安心できる教育環境の整備・充実を図ることとしています。

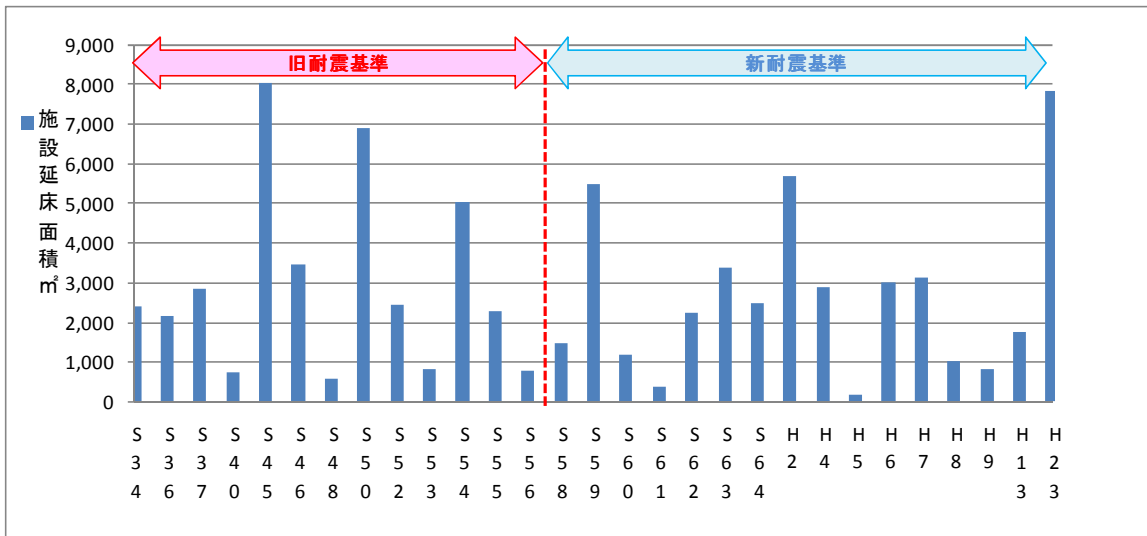
学校施設の管理棟（管理教室棟、管理普通教室棟、管理特別教室棟、管理特別普通教室棟を含む。）は小学校28棟、中学校22棟、合計で50棟あります。そのうち建築後30年以上を経過した建物が26棟あり、全体の約55%を占めています。これらの建物は、経年劣化による修繕や更新等の必要性が今後高まってきます。

また、長門市学校施設整備計画（計画期間：平成25～27年度）によると、学校施設全体50棟のうち耐震化が必要となるのは24棟ですが、このうち12棟は耐震改修が実施済か必要のない施設で、残りの12棟については平成27年度末までを目途に改修し、耐震改修率100%を目標に取り組んでいます。

## ◆主な建物一覧

No	建物名	建設年度	構造	地上	地下	施設延床面積(㎡)	耐震化実施状況	
							耐震診断	耐震改修
1	通小学校管理教室棟	H6	RC	3		2,710	不要	不要
2	通小学校屋内運動場	H7	S	2		843	不要	不要
3	仙崎小学校管理教室棟	S59	RC	3		2,817	不要	不要
4	仙崎小学校教室棟	S60	RC	2		1,674	不要	不要
5	仙崎小学校特別教室棟	S61	RC	2		399	不要	不要
6	仙崎小学校屋内運動場	S63	S	2		1,496	不要	不要
7	深川小学校教室棟	H23	RC	2		4,412	不要	不要
8	深川小学校(教室棟)	H23	RC	2		1,970	不要	不要
9	深川小学校屋内運動場	H23	RC	2		1,465	不要	不要
10	向陽小学校管理教室棟	S55	RC	3		2,288	実施済み	不要
11	向陽小学校屋内運動場	S56	S	2		769	実施済み	実施済み
12	俵山小学校管理教室棟	H13	RC	2		1,740	不要	不要
13	俵山小学校屋内運動場	H9	S	1		807	不要	不要
14	明倫小学校教室棟①	S45	RC	3		1,750	不要	実施済み
15	明倫小学校管理棟	S45	RC	2		1,163	不要	未実施
16	明倫小学校教室棟②	S46	RC	2		1,166	実施済み	未実施
17	明倫小学校特別教室棟	S46	RC	2		1,026	実施済み	実施済み
18	明倫小学校屋内運動場	S46	S	1		1,138	実施済み	実施済み
19	浅田小学校	H4	RC	2		2,158	不要	不要
20	浅田小学校屋内運動場	H4	RC			716	不要	不要
21	日置小学校	H2	RC	4		4,384	不要	不要
22	日置小学校屋内運動場	H2	RC	1		827	不要	不要
23	神田小学校	H7	RC	3		2,284	不要	不要
24	神田小学校屋内運動場	H8	RC	2		1,147	不要	不要
25	油谷小学校	S37	RC	3		2,845	未実施	未実施
26	油谷小学校屋内運動場	S40	S	2		732	未実施	未実施
27	向津具小学校	S63	RC	3		1,919	不要	不要
28	向津具小学校屋内運動場	S48	S	1		770	実施済み	実施済み
29	仙崎中学校管理教室棟	S45	RC	3		2,554	実施済み	実施済み
30	仙崎中学校渡り廊下棟	S45	RC	3		476	実施済み	実施済み
31	仙崎中学校特別教室棟	S45	RC	3		1,087	実施済み	実施済み
32	仙崎中学校給食配膳室	H8	RC	1		208	実施済み	不要
33	仙崎中学校屋内運動場	S45	RC	1		1,607	実施済み	実施済み
34	深川中学校管理教室棟	S50	RC	3		1,633	実施済み	未実施
35	深川中学校教室棟(第1東)	S50	RC	3		1,269	実施済み	未実施
36	深川中学校特別教室棟①(第1西)	S52	RC	3		872	実施済み	未実施
37	深川中学校特別教室棟②(第2東)	S52	RC	3		1,179	実施済み	未実施
38	深川中学校技術教室棟	S52	S	1		380	実施済み	不要
39	深川中学校給食配膳室	H6	RC	1		290	不要	不要
40	深川中学校屋内運動場	S58	S	2		2,443	不要	不要
41	俵山中学校	S36	RC	3		2,144	実施済み	未実施
42	俵山中学校屋内運動場	S53	S	1		828	実施済み	未実施
43	三隅中学校	S59	RC	3		2,397	不要	不要
44	三隅中学校特別教室棟	S34	W	2		989	未実施	未実施
45	三隅中学校屋内運動場	S62	S	2		2,260	不要	不要
46	日置中学校	H1	RC	3		2,761	不要	不要
47	日置中学校屋内運動場	H5	RC	1		3,114	不要	不要
48	菱海中学校	S54	RC	3		2,581	実施済み	不要
49	菱海中学校技術棟	S54	S	1		488	実施済み	実施済み
50	菱海中学校屋内運動場	H2	RC	2		2,464	不要	不要
	全体					81,439		

◆築年度別の整備状況



③利用状況

小学校の児童数は、平成26年度現在1,562人で、3か年推移（平成23～25年）を見ても137人減少しており、10年前の平成16年には1,996人（学校数は14校）であったことと比較すると、この10年間で約22%（学校数は3校）減少していることとなります。

地域別の児童数を見ると、多いところでは長門地区の深川小学校が551人で最も多く、次いで仙崎小学校となっています。また、地区の中心部にある小学校は比較的児童数が多い一方、地区の中心部から遠い小学校では複式学級を採用しているところもあるなど、児童数が少ないというのが、長門・三隅・日置・油谷の各地区に共通した傾向となっています。

これには、児童数の少ない小学校を中心部の学校へ統廃合していることもありますが、将来人口推計が示すとおり少子化の影響が主であり、ほぼ全ての小学校で児童数の減少が見込まれています。また、学校の統廃合等により遠距離通学となった児童は、スクールバスで通学していますが、その児童数は107人に上ります。

次に中学校の生徒数は、平成26年度現在852人で、3か年推移（平成23～25年）を見ても72人減少しており、10年前の平成16年には1,169人（学校数は10校）であったことと比較すると、この10年間で約27%（学校数は4校）減少していることとなります。

地域別の児童数を見ると、多いところでは長門地区の深川中学校が311人で最も多く、次いで仙崎中学校となっています。

中学校においても、将来人口推計が示すとおり少子化の影響があり、ほぼ全ての学校で生徒数の減少が見込まれています。また小学校と同じく、スクールバスで通学している生徒数は55人に上ります。

第3章 公共施設の現状

◆小中学校別の児童・児童数（H26.5.1現在）

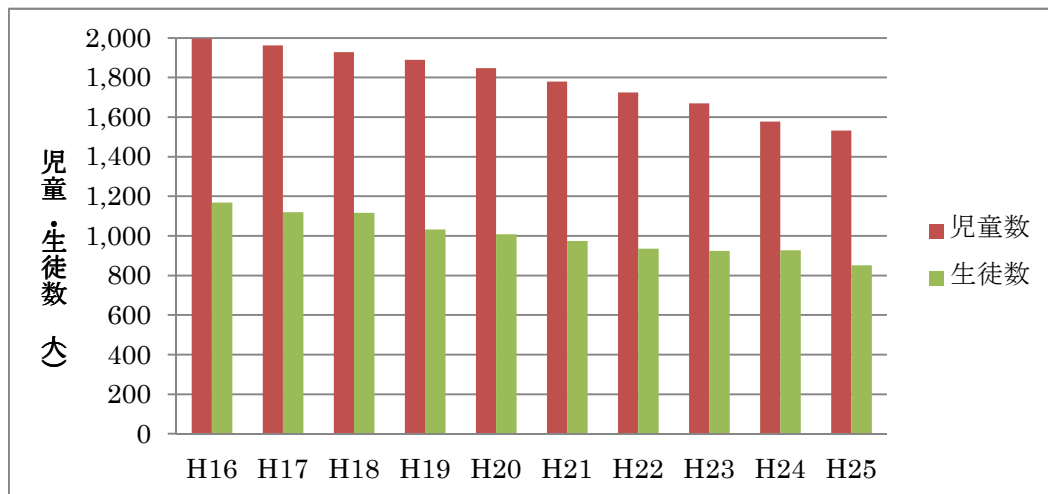
小学 校名	児 童 数						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
通	5	2	8	4	8	2	29
仙崎	41	42	46	49	47	45	270
深川	80	85	92	100	90	104	551
向陽	10	7	9	8	10	9	53
俵山	4	2	9	4	7	9	35
明倫	22	35	31	23	24	29	164
浅田	14	14	11	16	23	14	92
日置	23	24	24	18	27	29	145
神田	4	2	6	5	5	1	23
油谷	23	27	22	16	24	24	136
向津具	4	6	4	2	13	5	34
合計	230	246	262	245	278	271	1,532

中学 校名	生 徒 数			
	1年	2年	3年	計
仙崎	49	44	63	156
深川	102	84	125	311
俵山	3	9	8	20
三隅	44	51	44	139
日置	32	34	48	114
菱海	31	37	44	112
合計	261	259	332	852

◆長門市の小・中学校（児童・生徒数、学校数の推移）

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
学校数	24	22	21	21	21	21	18	17	17	17
児童数	1,996	1,962	1,928	1,889	1,848	1,780	1,725	1,669	1,577	1,532
生徒数	1,169	1,120	1,116	1,032	1,008	974	936	924	928	852
合計	3,165	3,082	3,044	2,921	2,856	2,754	2,661	2,593	2,505	2,384

\*各年度5月1日現在



④コスト状況

本市の小学校 11 校の管理運営経費は平成 23 年度～平成 25 年度の 3 ヶ年平均で、総額は 5,193 万円となっています。（本市負担分のみ）

学校別の経費を見ると、大規模校では総額約 885 万円、小規模校では約 280 万円となっています。

次に中学校ですが、6 校の管理運営経費は平成 23 年度～平成 25 年度の 3 ヶ年平均で、総額は 3,532 万円となっています。（本市負担分のみ）

学校別の経費を見ると、大規模校では総額約 1,114 万円、小規模校では約 286 万円となっています。

このほか、小・中学校とも、本書で示す以外に県費負担の教職員等の人件費がかかることから、管理運営には多額の費用を要することが分かります。

◆各学校施設の維持管理コストの状況

（単位：千円）

小学校名	維持管理経費 (23～25 年度の平均)	中学校名	維持管理経費 (23～25 年度の平均)
通小学校	4, 1 4 4	仙崎中学校	5, 5 2 0
仙崎小学校	7, 7 5 1	深川中学校	1 1, 1 3 5
深川小学校	8, 8 5 1	俵山中学校	2, 8 6 3
向陽小学校	2, 9 8 4	三隅中学校	5, 5 1 4
俵山小学校	2, 8 0 3	日置中学校	5, 4 7 8
明倫小学校	5, 7 4 6	菱海中学校	4, 8 1 3
浅田小学校	4, 0 6 4	総 額	3 5, 3 2 3
日置小学校	3, 7 4 9		
神田小学校	3, 5 7 1		
油谷小学校	4, 7 5 3		
向津具小学校	3, 5 0 9		
総 額	5 1, 9 2 5		

⑤まとめ

平成 26 年度現在、本市の小学校児童数は 1,532 人、中学校の生徒数は 852 人、小学校数は 11 校、中学校は 6 校あり、全ての施設が災害時の避難所としての機能も有しており、各地域での重要な施設の 1 つとなっております。

学校施設は、市保有の公共施設全体の延べ床面積の約 32%を占めています。建物は、築後 30 年以上を経過した建物が全体の 57%を占めていますが、長門市学校施設整備計画に基づき、老朽化した学校施設の建替え・整備、耐震改修等により、子どもたちが安全

### 第3章 公共施設の現状

で安心できる教育環境の整備・充実を図ることとしています。

小学校の児童数は、10年前の平成16年には1,996人（学校数は14校）から1,562人まで約22%減少しており、周辺部の児童数が少ない学校を中心に統廃合を進めてきましたが、今後も児童数の減少が見込まれています。

また、中学校の生徒数は10年前の平成16年には1,169人（学校数は10校）から852人まで約27%減少しており、小学校と同様に統廃合を進めてきましたが、今後も生徒数の減少が見込まれています。

これらの現状から、今後は適切な集団教育、団体行動の場としての学校機能が十分に発揮されるよう、配置や規模について考慮することが必要です。また、児童・生徒数の減少が著しい周辺部の学校については、児童一人ひとりの個性や意思を尊重しつつも、良好な集団教育の場として一定の規模が維持できるよう努めるとともに、交通支援等により登下校時の安全性の確保も重要となります。



イ その他教育施設（給食センター）

①サービス、建物、利用の状況

学校給食センターは、栄養バランスのとれた安全・安心でおいしい給食を提供し、児童生徒の心身の健全な育成や給食を活用した食に関する指導、食育の推進を図ることを目的として設置しています。

本市では、現在長門地区に長門市学校給食センターがあり、日置小・中学校を除く市内全域に1日約2,400食を提供しています。また、日置中学校内に日置学校給食センターがあり、日置小学校及び日置中学校に1日約300食を提供しています。年間では約190日給食を提供しており、地産・地消やながと食の日（毎月1回）の取り組みも行ってまいります。

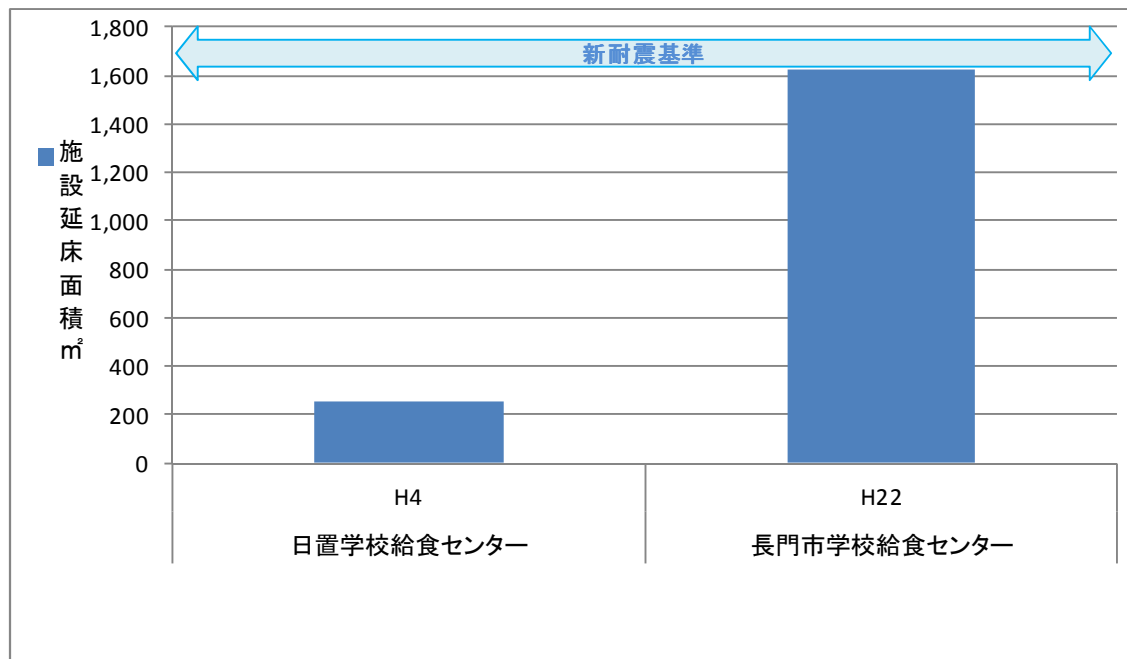
長門市学校給食センターは、平成22年に供用開始した新しい施設であるため、耐震性も問題なく、施設・設備・備品ともに新しく、当分の間は現状の機能が保たれます。

学校施設の章でも述べましたが、小中学校の児童生徒数の減少とともに、給食数が減少することが見込まれています。

表 主な建物一覧

No	建物名	併設施設	建設年度	構造	地上	地下	施設延床面積(m <sup>2</sup> )	耐震化実施状況	
								耐震診断	耐震改修
1	長門市学校給食センター		H22	S	1		1,624	不要	不要
2	日置学校給食センター		H4	S	1		253	不要	不要
全体							1,877		

図 築年度別の整備状況



## ②管理運営及びコスト状況

学校給食センターは、小中学校が休日である土・日曜日・祝日及び長期休み期間以外は全て運営しており、運営時間は7時30分から17時15分までとなっています。管理運営にあたっては、調理員18名と事務職員1名がおり、調理業務から配送業務まで全て直営で実施しています。

学校給食センター全体の管理運営コストを合計すると、平成23年度から平成25年度の3カ年平均実績で1億7,755万円となっています。施設別のコストを見ると、長門市学校給食センターが1億6,006万円、日置学校給食センターで1,749万円となっています。

材料費等の実費を除く給食数1食当たりのサービスコストは、学校給食センターの全体の平均で83.6円/食となっています。

給食センターの業務には、調理業務と配送業務があり、配送業務については以前に民間委託も検討されましたが、比較の結果直営を継続しています。

また、近年では、食物アレルギーのある児童生徒への対応も課題となっており、長門市学校給食センターでも平成25年1月策定の「食物アレルギー対応マニュアル」により、子ども達のアレルギーに関する情報把握を行った上で、学校給食の提供等個別に対応している状況です。

表 給食センターサービスコストの状況（H23～H25の3カ年平均）

●給食費等（歳入）	134,670 千円
●管理運営コスト（歳出）	177,542 千円
●年間のサービスコスト（差引）	42,872 千円
●1食当たりの実質コスト	42,872 千円 / (190日 × 2,700食) ≒ 83.6 円
●1食に係る費用	177,542 千円 / (190日 × 2,700食) ≒ 346 円

## ③まとめ

学校給食センターは、栄養バランスのとれた安全・安心でおいしい給食を提供し、児童生徒の心身の健全な育成や、食生活の改善を図ることを目的として設置しています。

本市では、長門市学校給食センターと、日置中学校内に日置学校給食センターがあります。

長門市学校給食センターは、平成22年に供用開始した新しい施設であるため、耐震性も問題なく、施設・設備・備品ともに新しく、当分の間は現状の機能が保たれます。

また、小中学校の児童・生徒数の減少とともに、給食数減少することが見込まれてい



### 第3章 公共施設の現状

ます。そのため、日置学校給食センターは平成4年の建設ですが、老朽化するまでは使用することとし、将来的には長門市学校給食センターへの統合する予定です。

近年では、食物アレルギーのある児童生徒への対応も課題となっており、長門市学校給食センターでも平成26年1月策定の食物アレルギー対応マニュアルにより、子ども達のアレルギーに関する情報把握を行った上で、学校給食の提供等個別に対応している状況です。

今後も、事業内容や利用者数、管理運営コスト等を踏まえながらあり方を随時検討していく必要があります。

